



埼玉県の経済情勢報告

令和4年1月25日

財務省関東財務局


お問い合わせ先

関東財務局総務部経済調査課

電話番号 048-600-1161

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられるものの、緩やかに持ち直している」









項目	前回（3年10月判断）	今回（4年1月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響が引き続きみられるものの、緩やかに持ち直している	

（注）4年1月判断は、前回3年10月判断以降、4年1月に入ってからからの足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。生産活動は、持ち直しつつある。雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

【各項目の判断】

項目	前回（3年10月判断）	今回（4年1月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している	
生産活動	一進一退の状況にある	持ち直しつつある	
雇用情勢	一部に底堅さがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	
設備投資	3年度は増加見込みとなっている（全規模・全産業ベース）	3年度は増加見込みとなっている（全規模・全産業ベース）	
企業収益	3年度は増益見込みとなっている（全規模ベース）	3年度は増益見込みとなっている（全規模ベース）	
企業の景況感	「下降」超となっている（全規模・全産業ベース）	均衡となっている（全規模・全産業ベース）	
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	
公共事業	前年を下回っている	前年を上回っている	

【先行き】

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、感染症による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している」

スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額などは前年を上回っている。百貨店販売額、家電販売額などは前年を下回っている。乗用車の新車登録届出数は、供給面の影響により、普通車、小型車、軽乗用車いずれも前年を下回っている。旅行や飲食サービスなどは、総じてみれば持ち直しつつある。

このように個人消費は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直している。

(主なヒアリング結果)

- 緊急事態宣言解除以降、外出する人が増えたこともあり、内食需要が徐々に落ち着いてきているが、冷凍食品はその利便性から好調を維持している。また、クリスマスケーキやおせちの予約販売が堅調。(スーパー、大企業)
- 衣料品や化粧品は、前年の落込みに比べれば回復してきているが、コロナ前の水準には戻っていない。一方で宝飾品や時計などの高額品は堅調。足下では感染が再拡大しているが、今のところ大きな影響は出ていない。(百貨店、中小企業)
- 部品調達難に伴うメーカー側の生産調整により納車遅延が継続しているものの、公共交通機関よりも車で移動したい顧客が増えているため、受注自体は堅調に推移している。(自動車販売、中堅企業)
- 深夜帯の客足の戻りは鈍いものの、12月以降、売上・客数ともプラスで推移しているほか、ランチ帯の客単価が上昇している。ただし、足下では感染者数の急増で消費者マインドが悪化したせいか客足が鈍くなっている。(飲食サービス、大企業)
- 10月以降、観光客数は回復傾向にあり、特に12月は大きなイベントがないにもかかわらず、土日の駐車場が満車となるなど目に見えて改善している。年明け以降、感染者数が増加しているが、人出は多く特段の影響は感じられない。(業界団体)

■ 生産活動 「持ち直しつつある」

生産を業種別にみると、化学、食料品が増加しているほか、供給面での制約がみられるものの、輸送機械が回復傾向にあるなど、全体としては、持ち直しつつある。

- 一部メーカーの生産停止に伴う後発業の供給減少の影響から、当社工場の稼働率は高水準を維持している。(化学、大企業)
- 巣ごもり需要の反動もあり、10～12月はスーパー、コンビニ、外食向け全般で苦戦しているが、健康志向の高まりから健康訴求食品の需要は堅調に推移している。(食料品、大企業)
- 半導体や部品の確保に一定の目途がついた完成車メーカーの生産復調に伴い、当社の生産台数も増加しており、更に1月以降は挽回生産が予定されているため、更なる増産を見込む。(輸送機械、大企業)

■ 雇用情勢 「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある」

有効求人倍率が概ね横ばいで推移するなか、新規求人数は増加しているなど、雇用情勢は、感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

- 人手不足のためパート募集を不定期に実施しているが、近隣の企業も同様に募集をかけていることから、人手確保が難しくなっている。(製造業(化学)、大企業)
- コロナ禍で休業している間に多くのパート・アルバイト社員が退職したため、緊急事態宣言解除後は人手不足感が強まっている。(飲食サービス、大企業)

■ 設備投資 「3年度は増加見込みとなっている」(全規模・全産業)「法人企業景気予測調査」3年10-12月期

○ 3年度の設備投資計画は、製造業、非製造業とも増加見込みとなっている。

■ 企業収益 「3年度は増益見込みとなっている」(全規模)「法人企業景気予測調査」3年10-12月期

○ 3年度の経常利益は、製造業、非製造業とも増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「均衡となっている」(全規模・全産業)「法人企業景気予測調査」3年10-12月期

○ 先行きについては、4年1～3月期に「下降」超となる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回っている」

○ 新設住宅着工戸数をみると、持家、貸家、分譲住宅いずれも前年を上回っており、全体として前年を上回っている。

- 足下の住宅展示場の来場者数は前年同期比で減少傾向である一方、ホームページからの物件探し・問い合わせ件数が増加傾向にあり、前年を上回る販売状況となっている。(建設、中小企業)
- コロナ禍によって家にいる時間が長くなったことで、住宅に対する関心が高まっており、消費者の住宅購入意欲は引き続き高い状況にある。(不動産、中小企業)

■ 公共事業 「前年を上回っている」

○ 前払金保証請負金額をみると、国、独立行政法人等、市町村は前年を下回っているものの、都県は前年を上回っており、全体として前年を上回っている。

埼玉県の経済情勢報告

資料編

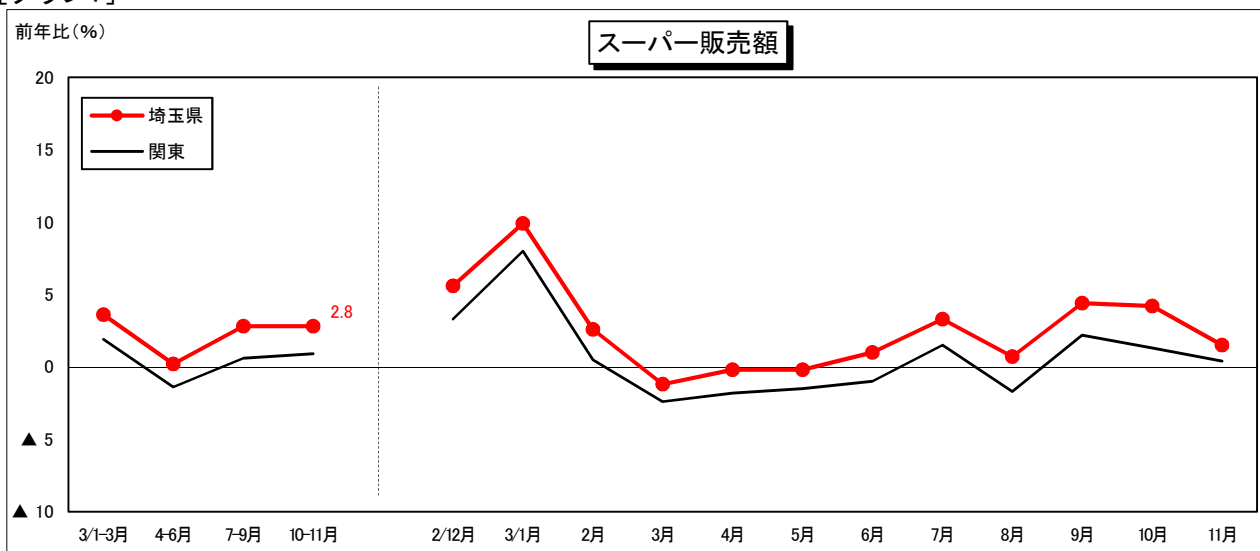
※掲載した経済指標等については速報値を含む。

※資料中の「管内」とは関東財務局が管轄する1都9県を示す。

1. 個人消費

新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、
緩やかに持ち直している

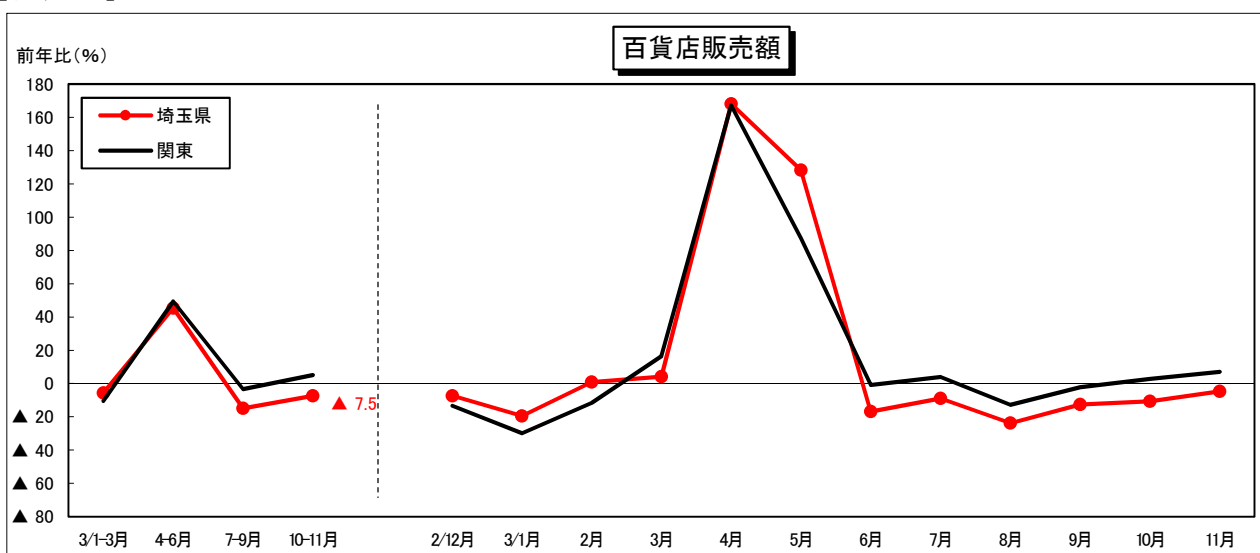
[グラフ1]



(注) 全店ベース。関東には、静岡県を含む。

「商業動態統計」(経済産業省)を加工

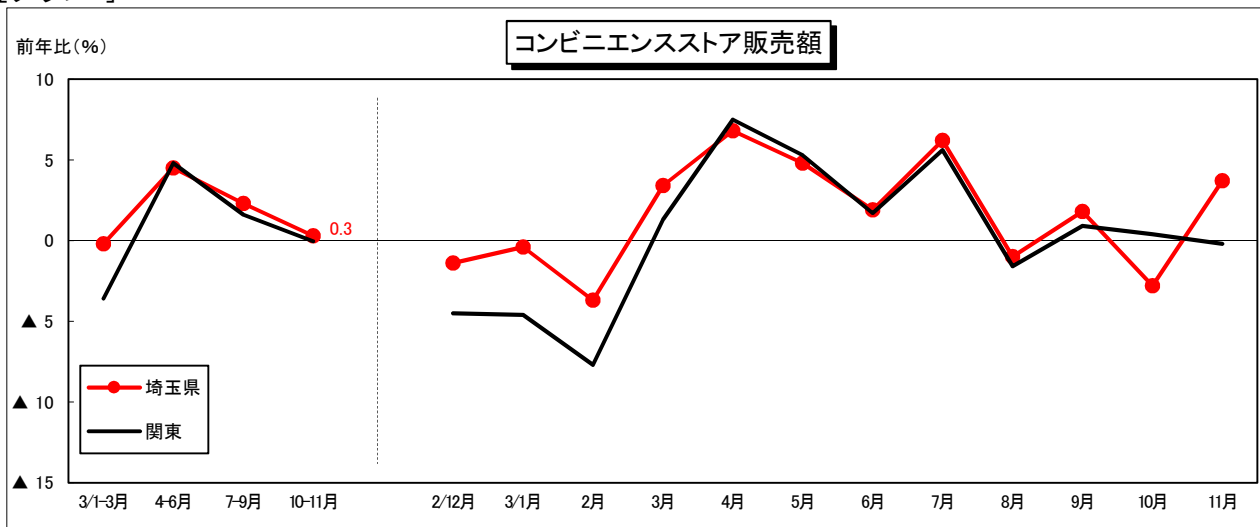
[グラフ2]



(注) 全店ベース。関東には、静岡県を含む。

「商業動態統計」(経済産業省)を加工

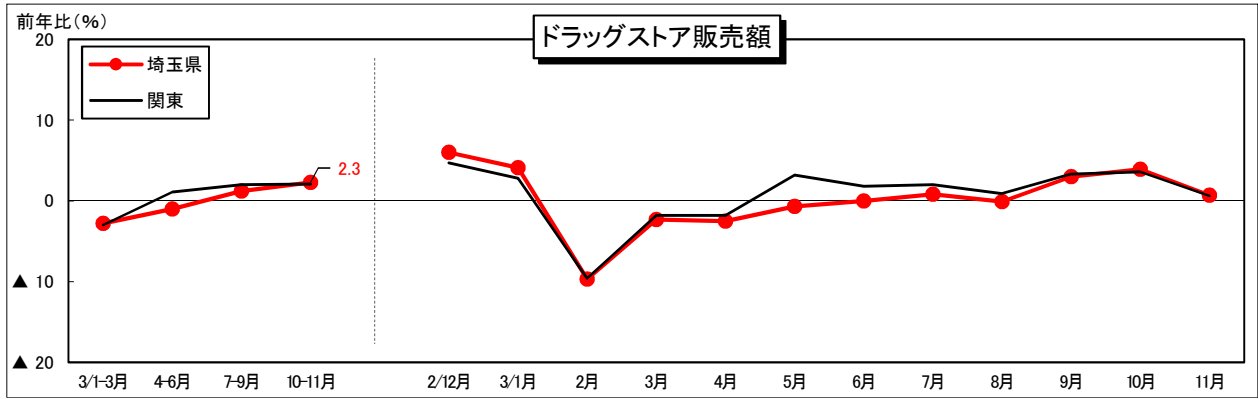
[グラフ3]



(注) 全店ベース。関東には、静岡県を含む。

「商業動態統計」(経済産業省)を加工

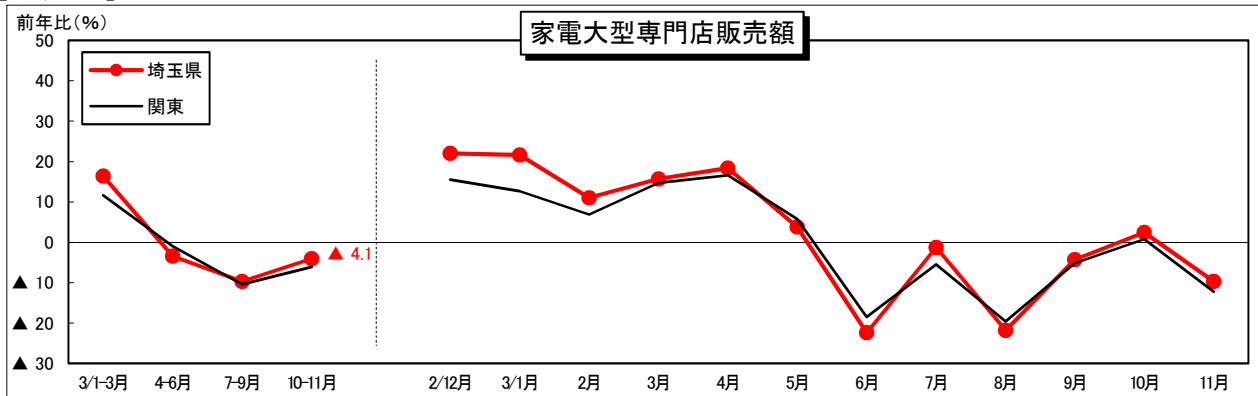
[グラフ4]



(注) 全店ベース。関東には、静岡県を含む。

「商業動態統計」(経済産業省)を加工

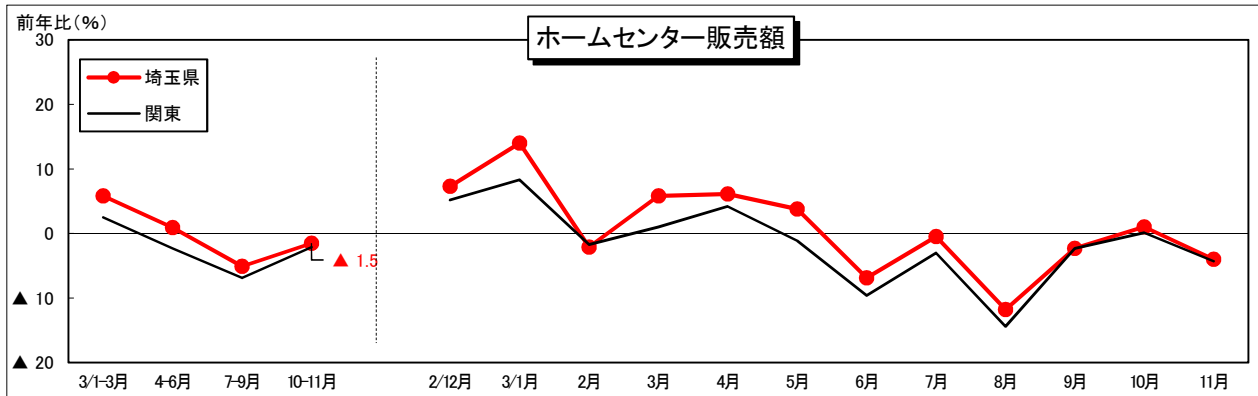
[グラフ5]



(注) 全店ベース。関東には、静岡県を含む。

「商業動態統計」(経済産業省)を加工

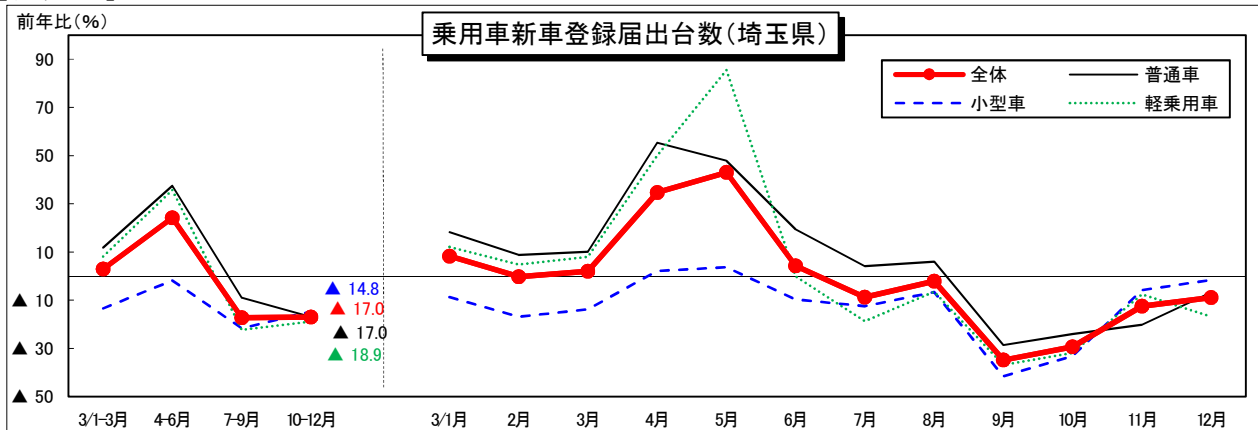
[グラフ6]



(注) 全店ベース。関東には、静岡県を含む。

「商業動態統計」(経済産業省)を加工

[グラフ7]

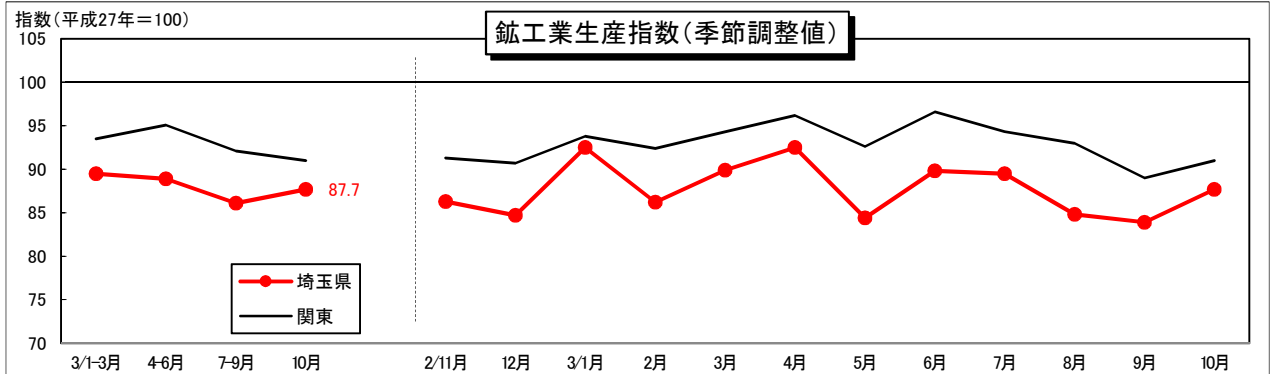


「新車販売台数」(日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会)を加工

2. 生産活動

持ち直しつつある

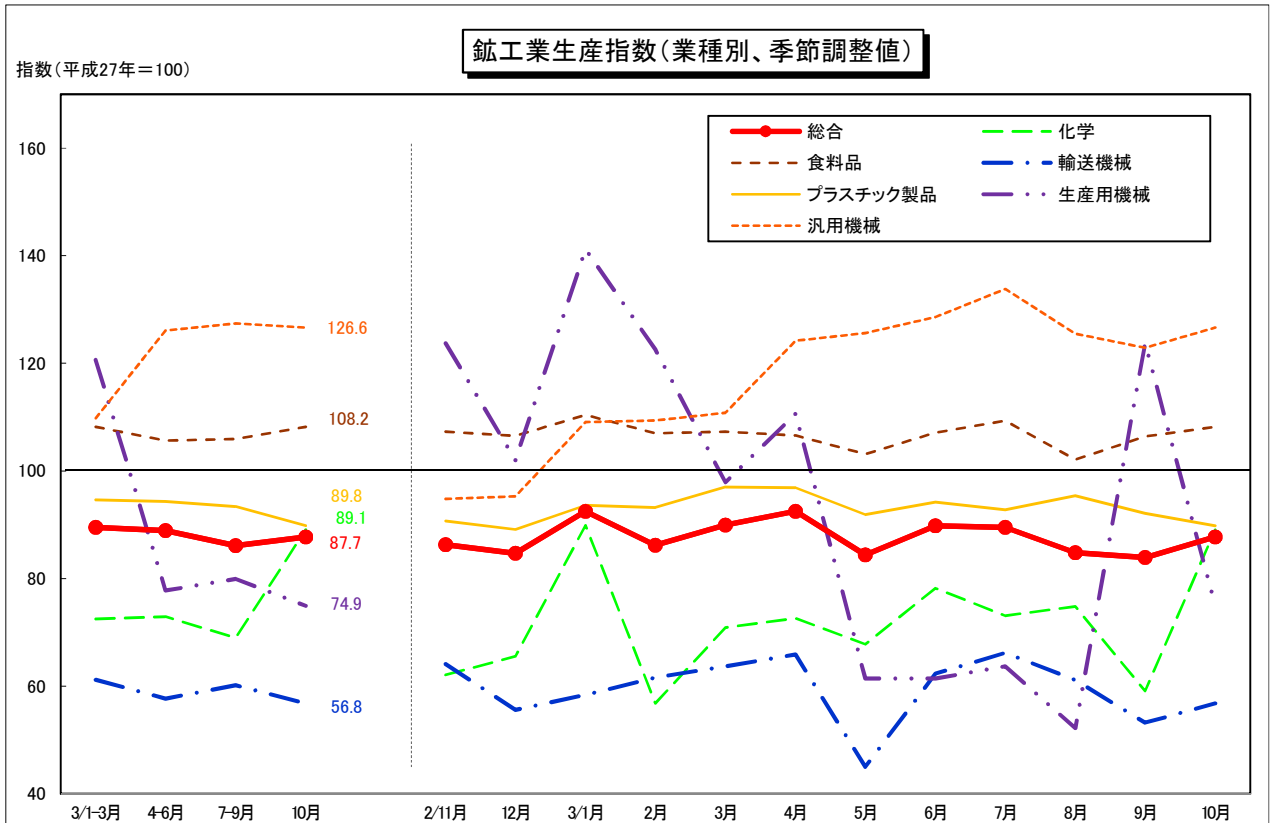
[グラフ8]



(注) 関東には、静岡県を含む。

「鉱工業指数」(埼玉県、関東経済産業局)を加工

[グラフ9]

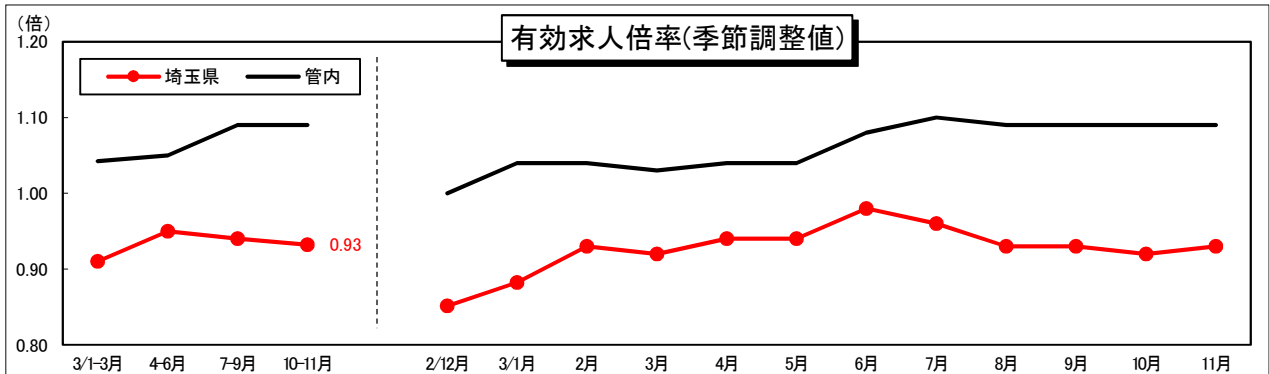


「鉱工業指数」(埼玉県)を加工

3. 雇用情勢

新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しつつある

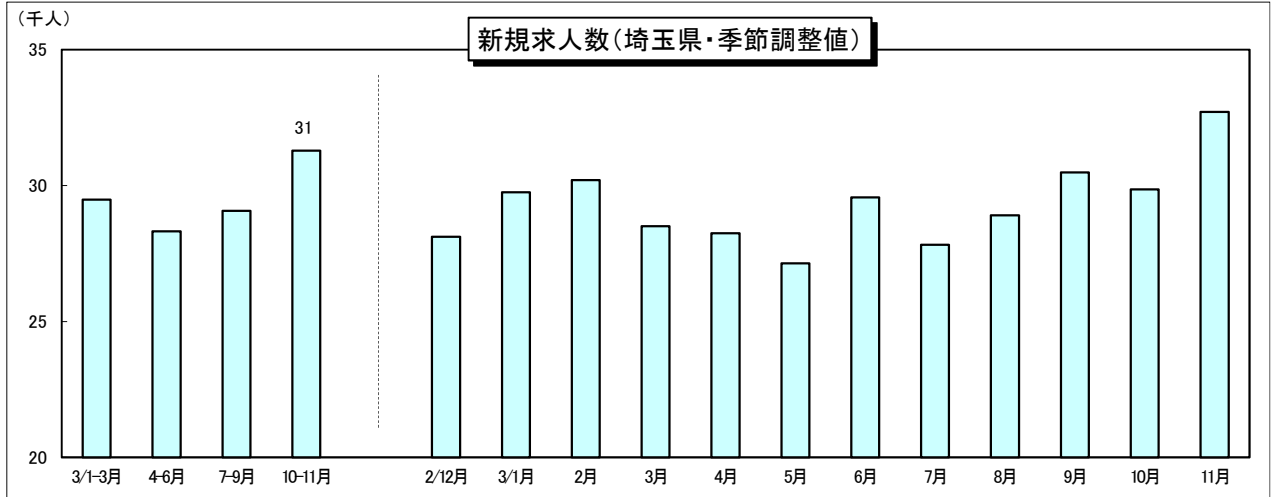
[グラフ10]



(注) パートを含む。

「一般職業紹介状況」(厚生労働省)を加工

[グラフ11]



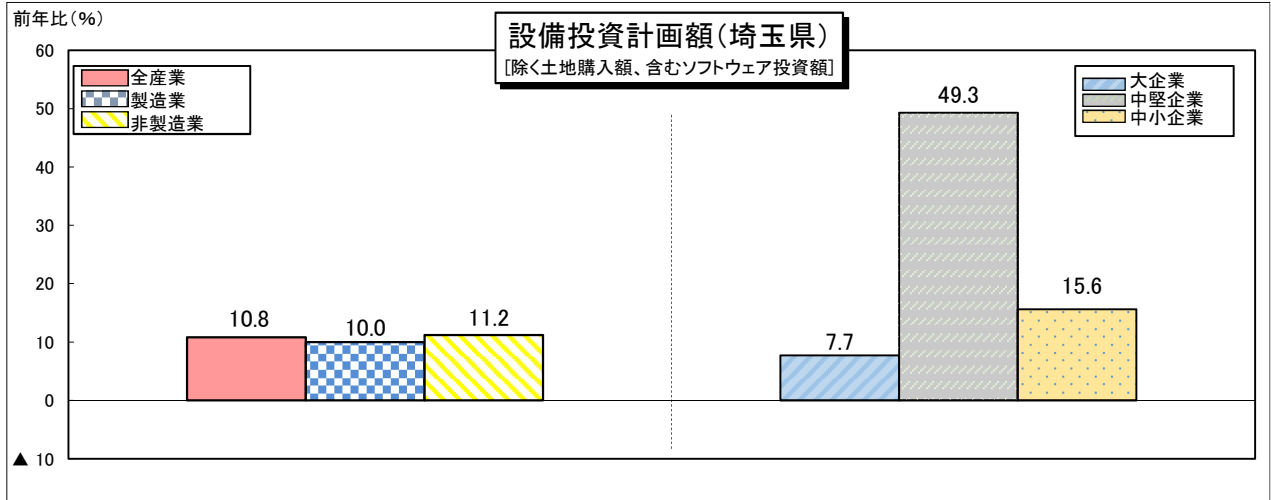
(注) パートを含む。四半期の値は月当たりの平均。

「一般職業紹介状況」(厚生労働省)を加工

4. 設備投資

3年度は増加見込みとなっている(全規模・全産業ベース)

[グラフ12]

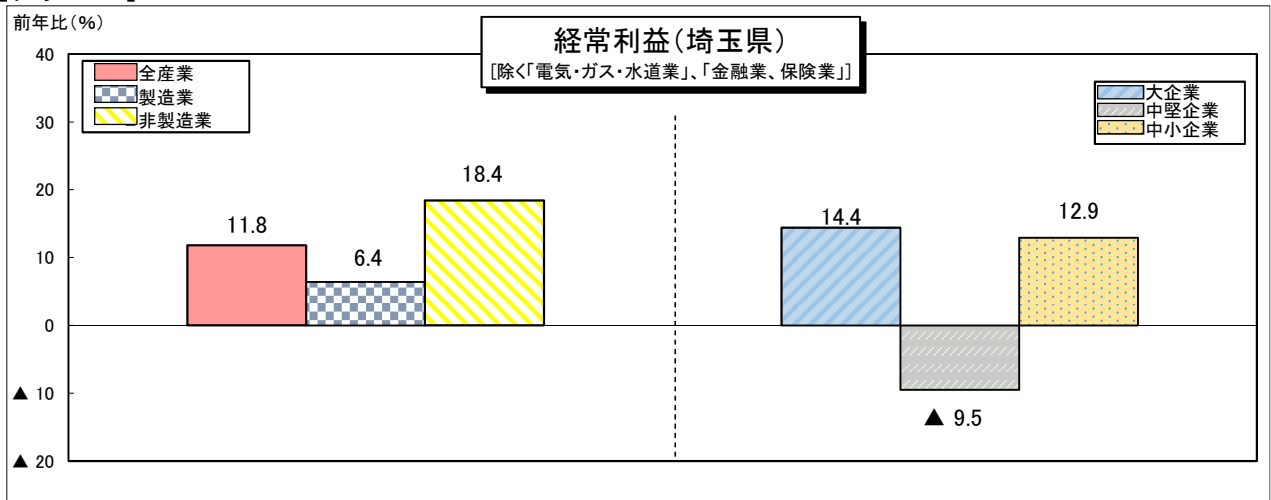


「法人企業景気予測調査(令和3年10~12月期調査)」(関東財務局)

5. 企業収益

3年度は増益見込みとなっている(全規模ベース)

[グラフ13]

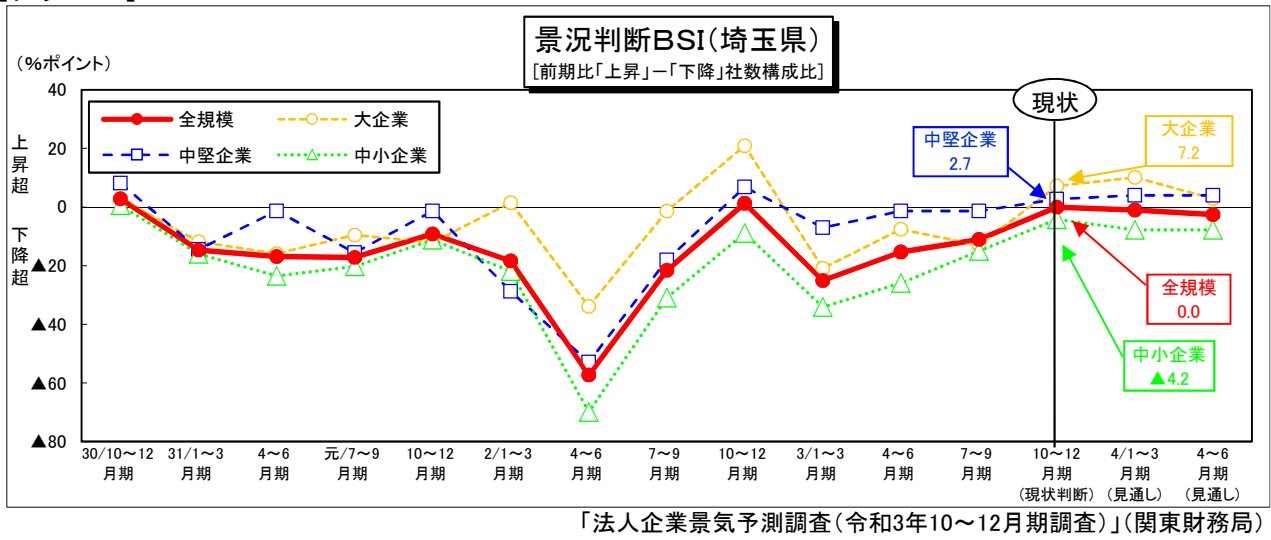


「法人企業景気予測調査(令和3年10~12月期調査)」(関東財務局)

6. 企業の景況感

均衡となっている(全規模・全産業ベース)

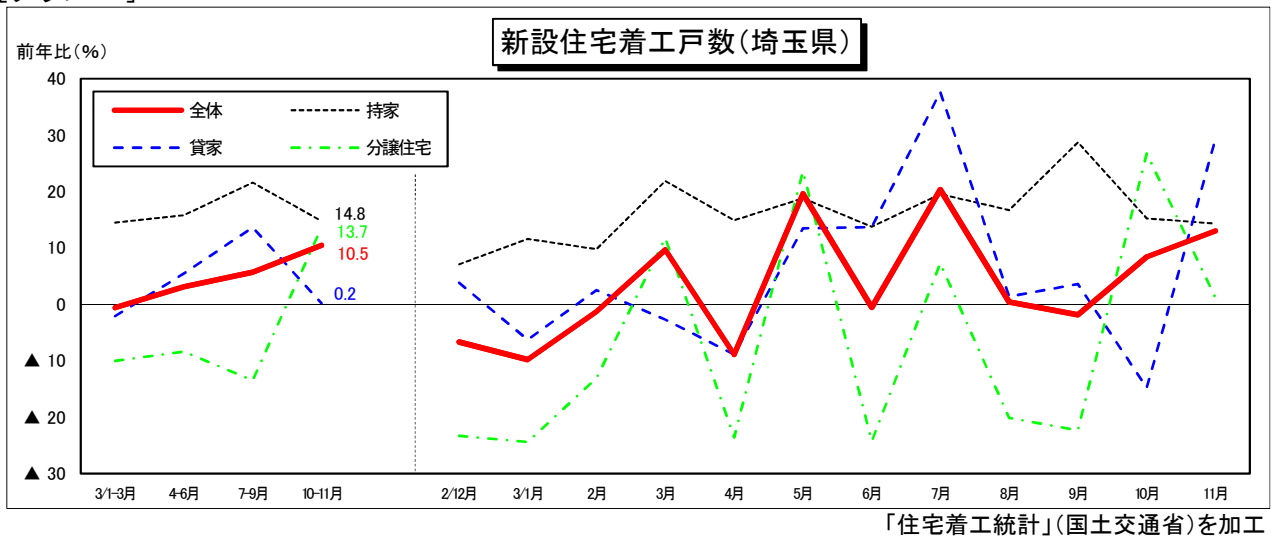
[グラフ14]



7. 住宅建設

前年を上回っている

[グラフ15]



8. 公共事業

前年を上回っている

[グラフ16]

